



500円で韓定食が食べられます!



お給料日である25日の前日(休日の場合にはその前日)に設

在日本韓国YMCA 2階の韓国レストラン<アリラン>のランチタイムのお客様は大半が近所のオフィスの方々です。そんなオフィスワーカーの皆さんへのサービス企画が「給料日前ワンコインDAY」です。

給料日前の
うれしい
ワンコインDAY

けられるワンコインDAYにはコッゲジャン定食(通常750円)とビビンバ定食(通常650円)が500円で食べられます。ワンコインで普段と変わらない定食セットメニュー(おかず付)がお腹いっぱいに味わえる良いチャンスをぜひ逃さないでください!



ビビンバ定食
(写真はイメージです)

2012年12月までのその他の活動

YMCA / YWCA 合同祈禱会

東京でのYMCA / YWCA 合同祈禱会は11月15日(木)に東京YWCAを会場として行われました。礼拝では大津恵子さん(女性の家HELP元ディレクター)がメッセージをお話くださいました。困難な状況におかれた外国人女性のために続けてこられたお働きのご紹介を通して、今年度のテーマ「暴力に勝利はない—人権と尊厳の尊重を目指して—」に対する理解を深めることができました。



また今回は、最近の領土問題をめぐる東北アジアの状況を憂慮してYMCA側で作成された「東北アジア平和の祈り」も共に捧げられました。礼拝後の懇親会では東京YWCAの皆さんがご用意くださった美味しいお食事をいただきながら、楽しい交わりの時間を過ごしました。

牧会者一泊協議会 2012

現代日本社会におけるYMCAの働きと教会一致について、共に考える機会として毎年継続されている『YMCA牧会者一泊協議会(兼・第2回教会協力委員会)』が、11月27日(火)～28日(水)、三浦海岸のリゾートホテル マホロバ・マイنز三浦において開催されました。



今回は15名の参加者を得て3台の車に分乗、夕食前の開会礼拝と翌朝の早天礼拝でみ言葉を分かち合い、祈りと讃美で恵みに満たされるとともに、協議では真剣且つ建設的な意見交換がされたことに加え、今年は特にすばらしい施設と特別料理で、心身ともに癒された良き学びと交わりの時となりました。

子どもクリスマス / 子ども韓国語教室



12月22日(土)にYMCA子どもクリスマスが行われました。クリスマスのお話を聞いたり、工作やゲームなどをして楽しい時間を過ごしました。サンタさんがうたう歌に合わせてのプレゼント交換やケーキなどに子どもたちは大喜びでした。

12月26日(水)～28日(金)には恒例の冬休み子ども韓国語教室が行われました。その日に習った韓国語を使ってホテルの韓国スタッフと話したりと、3日間一生懸命勉強してくれました。また、韓国語の歌をうたったり、チャンスをたたいたり、工作をしたりと内容盛りだくさんの楽しいプログラムになりました。今回習った韓国語は忘れないでこれからもたくさん使ってほしいです!



今後の予定 2013年1月～3月

【在日本韓国YMCA】

- 2/8(金) 2・8独立宣言第94周年記念式
- 2/8(金) 2012年度 第2回理事会

【東京韓国YMCA】

- 2/8(金) 2012年度 第3回理事会
- 3/4(月) 第226回教界指導者朝食祈禱会
- 3/9(土) 韓国伝統楽器舞踊教室発表会
- 3/21(木) 日本語学校卒業修了式
- 3/30(土) (予定) 日本と韓国 童謡の集い

【関西韓国YMCA】

- 1/28(月) 2012年度 第3回事業開発委員会
- 1/31(木) 生野地域活動協議会、区民クリスマス実行委員会
- 2/3(日) ひらかた冬の集い
- 2/6(水) 2・8独立宣言94周年記念礼拝(大阪北部教会)
- 2/16(土) 2012年度 第3回関西韓国YMCA理事会



YMCA 東京日本語学校学生募集中

＜編集後記＞

- 2013年が明けました。여러분 새해 복 많이 받으세요! (朴)
- ここのところ寒さに負けて風邪気味だったのですが、韓国料理を食べたら治った気がします。やっぱり汗かきながら辛いスープが一番。(才)
- 三年日記帳というのを買って年の初めからつけ始めました。今のところまだ挫折していません。長く続けられますように。(た)
- 年末進行ならぬ年明け進行。これから三月にかけて年度末進行となります。ゆっくり休めるのはいつの日か。(白)
- 最近体質改善のためにグリーンスムージーを始めました。続けられるように頑張ります(U)

【訂正とお詫び】

vol.9(2012年10月発行)にて下記の間違いがございましたので関係各位にお詫び申し上げますとともに訂正いたします。今後はこのような間違いをしないよう重々注意してまいります。誠に申し訳ございません。

- ①一面下段:【聖書に聴く 第9回】執筆者のお名前
(誤)李相頸牧師 → (正)李相勁牧師
- ②三面上段:【舞・踊る・4カ国の文化祭】写真キャプション
(誤)サルプリ → (正)イブチュム

KAKEHASHI かけはし 2013 Jan. vol.10

発行人: 金秀男 発行: 在日本韓国YMCAアジア青少年センター
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5
TEL: 03-3233-0611 FAX: 03-3233-0633
http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/
ayc@ymcajapan.org



『かけはし』次号は2013年4月発行予定です。

Twitter: @zainichiymca Facebook: Korean YMCA in Japan
より良い紙面づくりのために、ご意見・ご感想等お寄せください。



在日本韓国YMCA
アジア青少年センター
Korean YMCA in Japan
Asia Youth Center

かけはし

外国人被災者の「現住所」 佐藤信行(在日韓国人問題研究所)

2011年3月11日、東日本大震災で被災した青森・岩手・宮城・福島・茨城の5県には、約9万人の在日外国人が暮らしていました。そのうち、災害救助法が適用された市町・村に住む外国人は75,281人で、中国2万7千人、韓国・朝鮮1万2千人、フィリピン9千人、ブラジル7千人、タイ4千人……と続きます。

地震一津波一原発崩壊から2年になろうとする現在でも、外国人被災者に関する情報は断片的なものでしかありません。それは、外国人被災者の居住地が5県にわたり、また154の市・区・町・村のあまりにも広範囲に及ぶこと、彼ら彼女らのほとんどがコミュニティを形成することなく地域社会の中で孤立して生活してきたこと、すなわち日本社会において周縁化されてきたからです。

私たち「外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会」は2011年9月、地元の教会とNPOとで「外国人被災者支援プロジェクト」を立ち上げ、まず移住女性に対する調査から



震災で父親(日本人)を喪った子どもと、母親(移住女性)に教育支援金を渡す
(2012年6月)

聖書に聴く 第10回 金迅野 牧師(キム・シンヤ / 在日大韓基督教会 横須賀教会)

世界中に広がる経済不安、解決の糸口が見いだせない深刻な紛争、頻繁に生起する理由を定めることのできない無差別殺人、「収束」という発表とは裏腹に生の根底を揺るがし続ける原子力発電所の致命的な破綻……。大きく深い不安の中で、多くの人々が、強いリーダーを渴望しているように思います。この国では、国家のおどろおどろした部分に蓋をして過度に美化したり、妙に勇ましい言葉を吐いて、もはや老齢の自分は犠牲をはらわないですむ戦争に若い世代を巻き込もうとする「強い」リーダーもいるように感じます。

マタイによる福音書18章10節～14節の有名な「迷い出た羊」の喩えは、イエスのリーダー像を鮮明に伝えています。まことの羊飼(リーダー)は、たとえば百匹のうちの一匹が迷い出たとすれば、「九十九匹を山に残しておいて」でも、迷い出たその一匹を捜しに行くといひます。もっとも小さくされた者のために、いまうずくまっている一人のために、ほかの誰からも見向きもされない一人

始めました。2012年3月からは、宮城県石巻市、東北学院大学の郭基煥研究室と共同で外国人実態調査を行ない、私は毎週、市役所や仮設住宅で面接し、緊急支援をしています。

外国人被災者の多くは、1990年代以降、東北の農村・漁村に国際結婚で定住した中国・韓国・フィリピン人女性です。彼女たちは家と村社会のなかで、「日本人の嫁」としてふるまうことを強いられてきました。そして彼女たちが自立したいと願っても、「ことばの壁」「心の壁」が立ちふさがります。

仮設住宅やアパートの狭い一室で乳児を育てている移住女性に、子供服やミルクを届けに行くと、震災のさ中に生まれた子ども、あるいは震災後の混乱の中で生まれた子どもを前にして、私は途方にくれてしまいます。この子どもたち、この母親たちに、どのような支援ができるか、と。またある時は、市役所での2時間余りの面接の最後に、「震災後こんな辛い思いをしなければならなかったなら、3月11日に死んでいればよかった」と涙する在日女性に、私は返す言葉がありませんでした。

このような中で私は、疲労と、混濁とした意識のまま被災地から東京に帰ります。しかし、そのような私をいつも励ましてくれる言葉があります。「あなたたちは主の聖なる民である。主が心引かれてあなたたちを選ばれたのは、あなたたちが他のどの民よりも数が多かったからではなく、他のどの民よりも貧弱であったからである」(申命記7:6～8)。

* 「外国人被災者支援プロジェクト」の最新情報は
<http://gaikikyo.jp> (外キ協)を参照してください。

連載 東京の中の韓国を巡る【第2回・東上野コリアンタウン】 オ門勇介(「かけはし」編集委員)

「東京の韓国を巡る」第2回目の今回は、「東上野コリアンタウン」です。第1回目の「新大久保」に続き、コリアンタウンを訪問してみようと思いました。なんでも都内最古のコリアンタウンらしいので、行かない訳にはいきません。

とはいえ、上野といえばアメ横くらいは行ったことがあるのですが、東上野は初めてです。友人に聞いてみても、「新大久保」は知っていても「東上野」は知られていません。昨今の韓国ブームに乗り遅れたのかなと思いながら、とにかく向かいました。



東上野コリアンタウンの街並

上野駅から歩くこと数分、ココでいいのかと不安になりながら裏通りに入ると、そこに「東上野コリアンタウン」がありました。確かにその規模は「新大久保」と比べるべくもなく小規模で、一カ所に集中しています。「新大久保」にあるようなアイドルショップもなく、焼肉

店・キムチ店・肉店等がこぢんまりと集まっています。その一帯が昭和で時代が止まっているかのような街並です。どちらかというと硬派でディープな世界観。ランチタイムを少し過ぎたあたりで時間的にも人気もまばらで、一見さん(しかも1人)にはなかなか、ハードな雰囲気です。狭い裏通りでは、おばさんたちが韓国語でおしゃべりしています。

勇気を出して、それでも入りやすそうな店を選んで、入ってみました。何も言わずともキム



キムチ店に並ぶキムチ

ガザYMCA救援緊急募金を実施

2012年11月イスラエルの空爆により大きな被害を受けたパレスチナ・ガザの市民・子どもたちを救援するため、ガザYMCA 救援緊急募金を実施されました。募金は2013年1月末で一旦締め切られ、日本YMCA 同盟、世界YMCA 同盟を通じて現地に届けられます。

私たちのYMCAは今後も東エルサレムYMCAとの交流やプログラム支援等を通じて、パレスチナにおける平和構築の働きに積極的に加わっていきます。

東日本大震災救援・復興募金も継続実施中

まもなく発生から2年を迎える東日本大震災の被災地支援を目的として「YMCA 東日本大震災救援・復興募金」も引き続き受け付けております。

募金の送り先

窓口持参または郵便振替で下記にご送金ください。
(「東日本大震災募金」とご記入下さい)。
00190-4-539049 在日本韓国 YMCA



シメのビビンバ

チが出てきて、サムギョプサルがお勧めと強めの口調で半ば強引に注文です。豚を焼いて、切り分けて、どこから来たの?何歳?キムチに巻いて食べなさい!と、くどくどに親切(おせっかい?)。でも、なぜか不思議と懐かしさを感じる

空気感なんです。そこで思い出したのは、小さい頃に、何かあるごとに、おばあちゃんの買い出しについて行った大阪のコリアンタウン「鶴橋」です。そういえばどこか似ているのかもしれませんが。シメにビビンバを食べ、少し食材を見て、東上野コリアンタウンを後に。

少し上野をブラブラし、夕方になり、ふと思いついて、また少し前を通ってみる事にしました。ソウルの裏通りのような独特のネオンが光っています。先ほどの店のおばさんに会釈すると、オーバーアクションで答えてくれます。いい意味で観光地化されていない本当の生活感のある「コリアンタウン」の風景。そういう意味でも貴重な場所なのかも知れません。



韓国語講座監修の初心者向け書籍

韓国語講座監修によるビギナー向けの韓国語学習書が出版されました。ハングルの成り立ちを理解して、読み方と音を覚えるため書き込み式になっています。

外国語としての韓国語を使えるようになるには、まずハングルを覚えることが大事です。耳で覚えるだけでは足りません。真似して喋るだけでは応用が利きません。見て分かる、聴いて分かる、書いて相手に伝えることができる、そして話すことができる基礎はハングルという文字を覚えることにあります。

徹底してハングルの練習を行うガイドブックとして、ビギナーの方にお勧めです。どうぞご一読ください。



YMCA韓国語講座監修『書き込み式やさしい韓国語練習帳』西東社

書店・インターネットにて発売中

2012年10月～12月のプログラム

東京韓国YMCAの活動 2012年10月～12月

YMCAバザー ＜Y・와 OI フェスティバル 2012＞

「Y・와 OI フェスティバル」(YMCA バザー)が11月17日(土)に開催されました。当日はあいにくの雨にもかかわらず多くの方にご来場いただき、名前の通りYMCA 全体が「ワイワイ」賑わう1日となりました。

毎年恒例の掘り出し市や、日本語学校の留学生による各国料理の屋台、韓国食品の販売などは今年も大好評で、特に屋台は売切れが続出する程の盛況ぶりでした。また、今年からは東日本大震災復興支援コーナーとして、岩手県宮古市の特産品である「いか煎餅」や、わかめ、地サイダー等の販売も行いました。

今回の収益(35万円)は、東日本大震災外国人被害者支援プロジェクトをはじめとする諸団体の活動支援や、日本語学校学生の奨学金として用いられます。



美しいカグムの演奏



東日本大震災復興支援コーナー

関西韓国YMCAの活動 2012年10月～12月

世界YMCA / YWCA合同祈禱会

「暴力に勝利はない一人権と尊厳の尊重をめざして」というテーマで世界のYMCA / YWCA が共にした祈禱週に、大阪では11月15日(木)に大阪YMCA と大阪YWCA、そして本会で合同祈禱会を持ちました。



本会が会場となり参加者は68名を数えました。金必順(キム・ピルスン)牧師が「泥沼に光」という主題で、聖書からロトと二人の娘、そして女やもめのふたつのエピソードを描いた画を何点か示

され、社会の中で小さくされ顧みられない女性の弱い立場を解き明かされ、参加者の心を打ちました。席上献金45,860円は「セトン・女性のための電話相談」(在日大韓基督教会全国教会女性連合会)の活動に捧げられました。2部の懇親会では韓民芸科の有志がおいしく食事を準備し、参加者一同で韓国料理を楽しみました。以前から、関西韓国YMCA では食事が楽しみだと言われていたのでその期待に応えることができました。

各Y紹介の時間では韓民芸科の子どもたちの太平舞にひととき温かい拍手と声援が送られ、最後は李相勤(イ・サンギョン)牧師のリードで「サランヘ」を歌い、参加者全員の声で会場を満たしました。(金弘明 キム・ホンミョン)



子どもたちの太平舞

2012年 YMCAクリスマスの夕べ



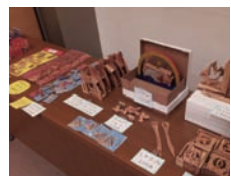
パレスチナの現状をスクリーンに投影

音楽やパフォーマンスを楽しみながらクリスマスを祝う<YMCA クリスマスの夕べ>が12月9日(日)に行われました。

金迅野牧師(横須賀教会)のクリスマスメッセージの他、4か国語による聖書が朗読され、関東地方の各教会がオープニング音楽や賛美、連合聖歌などのプログラムを担当、そして在日大韓基督教会関東

地方連合青年会が愉快な劇を披露しました。最後には恒例のサンタ登場で会場は盛り上がり、参加者達はお弁当を手に取り会場を後にしました。

プログラムの中では在日本韓国YMCA が交流を進めるパレスチナの現状についての報告もあり、会場では東エルサレムYMCA で製作されたオーブクラフトの販売も行われました。



オーブクラフトの販売

第41回 生野区民クリスマス

関西韓国YMCA が事務局を担っている生野地域活動協議会では、12月8日(土)生野区民クリスマス実行委員会の主催により生野区民クリスマスを開催しました。



児童によるサムルノリ演奏

毎年生野区内の小学校を会場とし、今年は生野朝鮮初級学校にて午前中の授業を終えた全校児童と先生方に参加いただいたほか、保護者の方、地域の学童や子供会、教会のメンバーなど約250名が参加、初級学校の児童たちによるサムルノリ演奏と舞踊、プール学院吹奏楽部の演奏、マジック、チームEggのボーカル坂本真紀さんの歌を聞き、一緒に歌ってゲームをし、最後にはサンタも登場してクリスマスプレゼントをもらってお開きとなりました。

教会や保育園をはじめ各団体から区民クリスマスに寄せられた賛助金は、地域で様々な活動を行っているグループの支援に用いられます。多くの方のご支援とご協力により今回も区民クリスマスを開催し、地域助成が行えますことを感謝いたします。(小林利子)

YMCA会員クリスマス

12月8日(土)午後6時半からYMCA 1階ホールにて、総勢37名が集まりクリスマス祝会が行われました。

第1部礼拝では李相勤牧師(西部地方会)より「地には平和」と題してのメッセージをいただき、皆のよく知っているクリスマスの賛美歌を歌い、厳かな中にもクリスマスを迎える喜びが溢れました。第2部パーティーでは美味しい食事をいただきながら交わりを深めた後、オークション、ビンゴゲームと続き、大人も子どもも活発に参加してにぎやかで楽しいパーティーとなりました。最後にはサンタクロースが登場して子どもたちも大喜びでした。

YMCA にかかわる皆さんが準備段階から積極的にかかわってくださり、お子さんお孫さんも共に参加してのクリスマスをもつことができたことを改めて感謝いたします。(小林利子)